

国立大学グローバル化アクションプラン
ー国際社会における共創へのリーダーシップを発揮するためにー
(NUGLAP: National Universities Global Leadership Action Plan)

2024（令和6）年度フォローアップ調査

国立大学協会では、国際社会で一層リーダーシップを発揮する人材を育成し、国立大学全体の国際化の推進に貢献していくため、2024（令和6）年6月に「国立大学グローバル化アクションプランー国際社会における共創へのリーダーシップを発揮するためにー」（NUGLAP: National Universities Global Leadership Action Plan）を策定し、2033（令和15）年までに国立大学全体が目指すべきグローバル化へのメルクマールとしての指標を示しております。

国立大学協会は、2013（平成25）年3月に取りまとめた「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」における数値目標の達成状況を確認するためのフォローアップ調査を、2013（平成25）年度から実施しております。今回の調査は、これまでの調査の継続性を考慮しつつ、NUGLAPにおける新たな指標を踏まえて調査項目を再整理し実施いたしますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査結果は、各大学へ情報提供させていただくとともに、当協会の委員会、文部科学省等への要請のための資料として使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

※各設問ごとに、「NUGLAP」の対応項目を記載しています。

※本調査は3年ごとの実施を予定しています。（次回実施予定：2027（令和9）年）

●回答方法

太枠の枠内に、ご入力ください。

ご入力いただく内容は、2024（令和6）年11月1日現在でお願いします。

ただし、それ以外の時点で、ご回答をお願いしている項目もありますのでご注意願います。

〔 注意 シート・セルの変更は行わないでください。
枠が小さい場合は文字サイズを小さくしてください。 〕

大学名

1. 貴大学の日本人学生の海外留学者数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-1、指標c、d関係）

この質問は、日本学生支援機構が実施した「2024（令和6）年度留学生調査」の【3】2023（令和5）年度日本人学生留学状況調査に準拠しています。以下のURLの記入要領のP35をご覧ください。

https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2024/07/yoryo_daigaku2024.pdf

- ・対象期間は、2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に留学を開始したものです。
- ・対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含まれます。
- ・「協定等に基づかない」留学についても、貴大学が把握している日本人学生について、記入をお願いします。

	2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上1年6か月未満	1年6か月以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	不明
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
学士										
修士										
博士										
全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 貴大学におけるダブル・ディグリー・プログラム数をご入力ください。

(「NUGLAP」2-1-1、指標a及び2-1-2、指標b関係)

この質問は、文部科学省が実施する「大学における教育内容等の改革状況調査」に準拠しています。

- ・「学生交流」は、日本からの派遣、海外からの受入れの両方を含みます。
- ・対象期間は、2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日とします。

ダブル・ディグリーに関する事項を含んだ海外の大学との大学間交流協定に基づき、 <u>学生交流を実施したプログラム数</u>		プログラム
ダブル・ディグリーに関する事項を含んだ海外の大学との大学間交流協定に基づく、 <u>全プログラム数</u>		プログラム

3. 貴大学におけるジョイント・ディグリー・プログラム数をご入力ください。

(「NUGLAP」2-1-1、指標a及び2-1-2、指標b関係)

- ・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に設置しているプログラムを対象とします。

全プログラム数		プログラム
---------	--	-------

4. 貴大学で実施している中短期派遣プログラムの参加者数（単位、学位取得を伴わないものを含む）
をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-1、指標b関係）

- ・短期：3か月未満 中期：3か月以上1年未満（未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ（第二次提言）に準拠）
- ・対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含みます。
- ・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に派遣を開始したものを対象とします。

プログラム参加者数			
	短期	中期	合計
学士			0
修士			0
博士			0
合計	0	0	0

5. 貴大学で実施した国際共同研究数、大学院生が参加する国際共同研究数及び参加大学院生数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-1、指標e及び2-2-2、指標a関係）

- ・研究契約に基づいて海外の大学・研究機関・企業・政府等と実施する共同研究を対象とします。
- ・JSPS、JST、AMED、JICA等が実施する国際共同研究プログラムを含みます。
- ・実施計画書等において、研究分担者や研究協力者となっている大学院生、またはそれに準ずる役割で従事する大学院生を対象とし、複数の国際共同研究に参加している場合は、それぞれを1人としてカウントします。
- ・対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含みます。
- ・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日を実施期間に含むものが対象です。

国際共同研究数		件
大学院生が参加する国際共同研究数		件
参加大学院生数		人

6. 大学院生の国際的な研究集会（学会、シンポジウム等）における発表者数及び参加大学院生数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-1、指標f関係）

- ・「国際的な研究集会（学会・シンポジウム等）」は、「研究成果等に関して研究者が発表、議論、質疑応答などをする集まり（オンライン開催を含む）のうち、外国機関からの参加者がいる集会」とし、研究者個人や研究室が非公式に開催した集会は含みません。
- ・旅行計画、報告や参加費の支払い等から、参加、発表の実態が確認できる人数とします。
- ・参加者数には、発表者数も含めてカウントしてください。
- ・対象は、日本人大大学院生です。
- ・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に開催された研究集会を対象とします。

発表大学院生数		人
参加大学院生数		人

7. 海外の審査員による博士論文審査数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-1、指標g関係）

- ・「海外の審査員」は、外国機関に在籍する審査員（名誉教授等を含む）とします。
- ・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に実施した論文審査を対象とします。

海外の審査員による博士論文審査数	全博士論文審査数	(%)

8. 大学や研究科における大学院レベル（特に博士後期課程）の国際化に対する目標の設定

（「NUGLAP」2-1-1、指標h関係）

1 設定している 2 設定する予定 3 設定していない

☐ (年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

※特筆すべきものがあれば、グッドプラクティスとして調査票の最後にご記載ください。

9.ー① 4学期制の導入（一部で実施している場合を含む）

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

学部	<div></div>	(年)
大学院	<div></div>	(年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。
(回答例：2025年秋)

9.ー② 柔軟な学事暦の導入（9.ー①を除く。一部で実施している場合を含む。）

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

学部	<div></div>	(年)
大学院	<div></div>	(年)

※「2」を選択した場合は、右記カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。
(回答例：2025年秋)

※「1」又は「2」を選択した場合は、以下に具体的な内容をご記入ください。

10. 貴大学の外国人留学生数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-2、指標d、f関係）

ここでいう「外国人留学生」は、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により、我が国の大学（大学院を含む）等において教育を受ける外国人学生を指します。

- ・非正規生（研究生等）も加えた数をご入力ください。
- ・2024（令和6）年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	2024（令和6）年 5月1日現在			2024（令和6）年 11月1日現在		
	外国人留 学生数	学生数（外 国人留学生 含む）	（％）	外国人留 学生数	学生数（外 国人留学生 含む）	（％）
学士						
修士						
博士						
全体	0	0		0	0	

- 1 1. 外国人留学生の国内就職者数、国内進学者数、卒業（修了）留学生総数をご入力ください。
（「NUGLAP」2-1-2、指標a関係）

この質問は、日本学生支援機構が実施した「2024（令和6）年度留学生調査」の【2】2023（令和5）年度外国人留学生進路状況調査に準拠しています。以下のURLの記入要領のP23をご覧ください。

https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2024/07/yoryo_daigaku2024.pdf

・2023（令和5）年度中（2023（令和5）年4月1日から2024（令和6）年3月31日まで）に、貴学の正規課程を卒業又は修了した外国人留学生（非正規生（研究生、聴講生、科目等履修生等）、専攻科生、別科生は除く）が調査の対象となります。

	国内就職者数(A)	国内進学者数(B)	卒業（修了）留学生総数(C)	国内就職率（%） A/（C-B）
学士				
修士				
博士				
全体	0	0	0	

- 1 2. 外国人留学生のキャリア教育及び就職支援体制の整備 （「NUGLAP」2-1-2、指標c関係）

1整備している 2整備する予定 3整備していない

（ 年 ）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

※特筆すべきものがあれば、グッドプラクティスとして調査票の最後にご記載ください。

- 1 3. 英語での授業実施科目数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-2、指標e関係）

英語での授業科目数の数え方について

○前期、後期及び通年の科目を合わせてカウントします。

○受講者がおらず、開講されなかった場合は除きます。

○全ての授業を英語により実施している場合、これを1つの「授業科目」としてカウントします。

○語学としての授業科目は除きます。

○同一授業科目を複数セッション開講している場合、複数授業科目としてカウントします。

【例】

○「統計熱力学」を開講。15回の授業のうち、2回を海外からのゲスト教員により、英語で授業を行った場合は、全てを英語で授業していないため、カウントしない。

○「量子力学Ⅰ」を6セッション開講、うち2セッションは英語、4セッションは日本語で実施した場合、2授業科目としてカウント。

学部 授業科目
大学院 授業科目

14. 英語のみで学位取得可能なプログラム数をご入力ください。（「NUGLAP」2-1-2、指標g関係）

プログラムの数え方について

○学位取得のための課程や専攻、履修コースを1つの「プログラム」としてカウントします。

○研究科において開講科目が全て英語履修可能な場合、研究科内の専攻、履修コースを1つの「プログラム」としてカウントします。

○複数の研究科にまたがるプログラムは、1つの「プログラム」としてカウントします。

○全て英語での研究・論文指導により学位が取得できる博士課程は1つの「プログラム」としてカウントします。

学部 プログラム
大学院 プログラム

15. 4月以外入学時期の導入（例えば、秋入学など。一部で実施している場合を含む）

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

学部 (年)

大学院 (年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2025年秋）

16. 国際バカロレア入試の導入（一部で実施している場合を含む）

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

(年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

17. 留学生が居住可能な宿舍等の整備

※大学所有宿舍（国際交流会館等）、URや民間企業等との法人契約による借り上げ、自治体、民間企業等が所有する留学生宿舍で貴大学学生用の専用居室の割当、及び日本人学生及び外国人留学生混住型宿舍を含む。

1 整備している 2 整備する予定 3 整備していない

(年)

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舍の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

18. 寄附等による大学独自の奨学金制度の導入

① 外国人留学生向け奨学金制度の導入

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

(年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

② 日本人学生向け海外留学奨学金制度の導入

1 導入している 2 導入する予定 3 導入していない

(年)

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

19. 貴大学の派遣研究者数及び受入研究者数をご入力ください。（「NUGLAP」2-2-1、指標a関係）

この質問は、文部科学省が実施する「国際研究交流状況調査」に準拠しています。

派遣研究者：

国内の各機関に所属する「日本人及び外国人研究者」の海外渡航を指す。国内の各機関で雇用（「常勤・非常勤」「任期あり・なし」ともに該当）している日本人、外国人研究者及び「特別研究員制度」「関連支援制度」に応募し、採用された研究者を対象とします。ポスドク・特別研究員等は含みますが、学生は含めず、留学も派遣には含めません。

受入研究者：

海外の機関に所属する「外国人研究者」の招へい等の「受入れ」及び海外の機関に以前所属していた「外国人研究者」の雇用を指します。ただし、所在地を日本とする機関から国内の各機関への「受入れ（雇用・雇用以外）」は対象外とします。また、ポスドク・特別研究員等は含みますが、学生は含みません（ただし、雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生は対象とします）。

- ・対象期間は、2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日です。
- ・滞在期間が前年度又は翌年度にまたがるものは、総滞在（予定）期間を滞在期間とし、両方の年度でカウントすることとします。
- ・短期：1か月（30日）以内 中・長期：1か月（30日）を超える期間

期間	短期 （1か月（30日）未満）	中・長期 （1か月（30日）を超える期間）	合計
派遣研究者数			0
受入研究者数			0

20. 貴大学が主催した国際的な研究集会（学会、シンポジウム等）の開催数をご入力ください。

（「NUGLAP」2-2-1、指標b関係）

この質問は、文部科学省が実施する「国際研究交流状況調査」に準拠しています。

・「国際的な研究集会（学会・シンポジウム等）」は、「研究成果等に関して研究者が発表、議論、質疑応答などをする集まり（オンライン開催を含む）のうち、外国機関からの参加者がいる集会」とし、研究者個人や研究室が非公式に開催した集会は含みません。

・2023（令和5）年4月1日～2024（令和6）年3月31日に開催された研究集会を対象とします。

開催方式	対面のみ	オンライン開催のみ	対面・オンラインのハイブリッド	合計
開催数				0

件

21. 貴大学における国際共著論文数及び国内論文数をご入力ください。（「NUGLAP」2-2-2、b関係）

- ・2023（令和5年）4月1日～2024（令和6）年3月31日までに発表した論文を対象とします。
- ・整数カウントとします。

例：日本のA大学、日本のB大学、米国のC大学の共著論文の場合、日本1件、米国1件と集計する。したがって、1件の論文は、複数の国の機関が関わっていると複数回数えられることとなる。

国際共著論文数	国内論文数	国際共著論文比率

22. 貴大学において、英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）B2相当以上の資格・

検定試験のスコアを有している事務系職員数及び全事務系職員数をご入力ください。

（「NUGLAP」2-3-1、指標a関係）

- ・事務職員数は、文部科学省が実施した「令和6年度学校基本調査」に準拠しています。
- ・学校基本調査における本務者及び兼務者を対象とします。
- ・英語を母語とする者を含みます。

CEFR B2相当以上の資格・検定試験のスコアを有している事務系職員数	全事務系職員数	割合

23. 学内の国際化体制（学内計画・戦略・専門部署等）の整備（「NUGLAP」2-3-1、指標c関係）

1整備している 2整備する予定 3整備していない

☐（ 年 ）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

※特筆すべきものがあれば、グッドプラクティスとして調査票の最後にご記載ください。

24. 貴学における英語による授業を担当する教員数（語学としての授業科目は除く）をご入力ください。

（「NUGLAP」2-3-1、指標b関係）

- ・教員数は、文部科学省が実施した「令和6年度学校基本調査」に準拠しています。
- ・学校基本調査における本務者及び兼務者を対象とします。

英語による授業を担当する教員数	全教員数	割合

25. 国際に関する事項のデータベース化の整備（「NUGLAP」2-3-2、指標a関係）

1整備している 2整備する予定 3整備していない

（ 年 ）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2025年秋）

※特筆すべきものがあれば、グッドプラクティスとして調査票の最後にご記載ください。

26. 貴大学の外国人教員数をご入力ください。

ここでいう、「本務者」と「兼務者」の区別は、学校基本調査の定義を引用しています。
非常勤講師として発令されている方は兼務者とします。また、本務・兼務の区別は、原則として辞令面によります。辞令面で区別できない場合は、俸給を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とします。

※2024（令和6）年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	2024（令和6）年 5月1日現在			2024（令和6）年 11月1日現在		
	外国人 教員数	教員数 （外国人 教員含 む）	（%）	外国人 教員数	教員数 （外国人 教員含 む）	（%）
本務者						
兼務者						

27. 貴大学においてグローバル化を推進するために実施している取組をご記載ください。（最大3つ）

特に成功した事例や成果があった取組がありましたらご記載願います。

・ 特にご記載いただきたい取組
○ 大学や研究科における大学院レベル（特に博士後期課程）の国際化に対する設定目標
○ 外国人留学生のキャリア教育及び就職支援体制の整備に関する取組
○ 学内の国際化体制（学内計画・戦略・専門部署等）に関する取組
○ 国際に関する事項のデータベース化に関する取組

・ 国立大学グローバル化アクションプラン（NUGLAP）において、関係する項目がありましたらご記載ください。（記載例：2-1-1①、2-1-1a）

①

		NUGLAP関係項目	

②

NUGLAP関係項目	

③

NUGLAP関係項目	

28. 貴大学においてグローバル化を推進するうえで、グッドプラクティスが知りたい事項（取組内容）がありましたらご記載ください。

例：外国人留学生のキャリア教育、就職支援体制について

NUGLAP関係項目	

ご担当者名（フリガナ）

--

ご担当部署名

--

電話番号

--

E-mail

--

ご協力ありがとうございました。

【回答方法】 Excelファイルのまま、メールにて返信をお願いします。

【回答先】 国立大学協会 企画部 清水、武田

jacuie@janu.jp

【回答期限】 2024（令和6）年12月26日（木）12時